

# 県産花き振興の取り組みについて

## 生産振興

- ・消費地ニーズに対応した花きの生産
- ・新品目の導入
- ・経営コストの削減
- ・高品質・安定生産

## ＜販売推進の方向性＞

- ブランドの維持
- 地産外商を主軸とした販売
- 実需者との結びつきの強化
- 消費拡大の推進
- 新たな商材の国内外への提案・販売

## 販売振興

- ・県産花きの販売PR強化
- ・実需者との顔が見える関係づくり
- ・新たな商材の国内外への提案・販売

## ＜新たな取り組み＞

### ★新たな草花・枝物等の産地化

- 内容：大阪丸高花き協議会から栽培提案があった18品目について、園芸連が主体となって試験栽培を行い、県は「まともリグループ実証」等での取り組みをバックアップする。
- 品目：現状で栽培面積は少ないが市場から要請のある品目  
 (草花)花なす、観賞用唐辛子、リンドウ、風船とうわた、千日紅、大蓼  
 (枝物)紫陽花、ブルーベリー、夏ハゼ、木いちご、シキミア、ガマズミ、ビバーナム、カルミア、赤やなぎ、シキミ、サカキ  
 (葉物)虎の尾  
 ○スケジュール  
 H25.1まで 産地への栽培意向打診  
 H25.2 栽培説明会  
 H25.4～ 順次栽培実証開始  
 (まともリグループ実証活用)  
 H26.3まで 試験栽培結果の検証  
 生産拡大可能な品目について  
 次年度推進

### 園芸品目の総合戦略支援

- (例)ユリの夜冷栽培技術による品質向上
- (例)グロリオサ‘オレンジハート’の導入拡大
- (例)レンタルハウス事業による施設整備支援など

### 丸高花き協議会

東京 大田花き 他全12社  
 大阪 なにわ花いちば 他全7社

- 活動内容  
 高知県の花き振興策への助言、PR展示やフェア開催時の協力組織

H21～23年度 モニタリング調査  
 H22～23年度 まるごと高知展示協力  
 H24年度～ 出前授業開催協力

### ★高知フラーワー

アドバイザー（関東1名）

- 活動内容  
 ①高知の花商談会などへのアドバイス協力  
 ②県産花きの新たな消費拡大への提案  
 ③出荷規格・新品目等の産地への提案

## ＜新たな取り組み＞

### ★高知の花商談会（関東地区で試行）

- 内容：東京丸高花き協議会12社と取引のあるブライダル、葬祭等の大口業務関係実需者と各産地とのマッチング  
 協力会社・・・大田花き、世田谷花き、第一花き 他全12社  
 ○時期：平成25年11月下旬（1回）  
 ○場所：東京都内  
 ○出展者：県内花き出荷主要JA、県内花き出荷団体  
 ○商談会のねらいと効果  
 ・新たな取引先の拡大  
 →効率的、相乗的な商談により生産過剰となる品目、時期の解消  
 ・業務需要への取引拡大  
 →ブライダル、葬祭等大口販売業者とのマッチングによる規格外品も含めた取引拡大  
 ・産地の見える化強化  
 →活発な産地の動きを見せることによるファンの拡大、固定客の確保  
 ・顧客情報をもとに新たな取り組みへトライ  
 →新品目・新品種への取引拡大、出荷規格や商品PR方法の見直しなど

関東地区での効果や問題点等を検証したのち、関西地区でも実施を検討

実需者対象の出前授業（関東・関西各1回）  
 仲卸、花店への産地のこだわり情報の周知、交流促進